



消防だより 119

無火災・無災害を祈り、
新春恒例の出初式

平成24年1月5日(木)、洞爺湖文化センターにおいて、洞爺湖消防出初式(西胆振消防組合洞爺湖消防団・洞爺湖消防署主催)が行われました。洞爺湖町の無火災・無災害を祈り、消防職・団員が、本町・温泉・洞爺の各地区で町民へ防火意識の高揚を訴え、消防車両によるパレードを実施いたしました。

パレード修了後に執り行われた式典では、永年に亘る消防団活動に功績のあった団員に、表彰状及び感謝状が授与されました。



新年の消防パレード

また、真屋敏春洞爺湖町長の式辞を始め、ご来賓の方々より日頃の消防活動に対する感謝と激励の言葉を頂き、出席者らは今年一年の防火・防災を誓い、地域の安全を祈願しました。

平成24年消防出初式の表彰者は次のとおりです。(敬称略)

北海道知事表彰

20年勤続表彰

班長 川村修一／団員 高橋哲也／団員 小山 忠

10年勤続表彰

団員 小林進市

北海道消防協会会長表彰

特別功績章

副分団長 京谷一弘／部長

坂東賢一

20年勤続表彰

班長 川村修一／班長 三好勝美／団員 清水直也／団員

高橋哲也

10年勤続表彰

団員 桑島順子

西胆振消防組合管理者表彰

20年勤続表彰

班長 川村修一／班長 三好勝美／団員 清水直也／団員 高橋哲也
洞爺湖町長感謝状
20年勤続表彰



洞爺湖消防団出初式

住宅用火災警報器 設置義務化の効果

住宅用火災警報器の設置義務化は、住宅火災による死者を減らすための切り札として導入されました。住宅火災による死者の6割が65歳以上の高齢者が占め、夜間の逃げ遅れによる死者が多い傾向にあることから、火災の発生をいち早く知らせる住宅火災警報器の効果は大きいと期待されていることです。消防

法により、新築住宅ばかりではなく、既存住宅も含めたすべての住宅で設置しなければならぬと定められています。

総務省消防庁によると2008年～2010年の3年間に

おける住宅火災約4万2千件について、住宅用火災警報器の効果

を調べたところ、設置されている住宅の火災は、設置されていない場合に比べて、死者数、焼損床面積、損害額がいずれもおおよそ半減しています。

効果は顕著に現れています。あなたの大切な家族や財産を守るため必ず設置しましょう。

ご質問や問合せなどがありましたらお気軽に、洞爺湖消防署(☎76-2119)・温泉分署(☎73-1119)・洞爺分署(☎87-2119)へご相談ください。また、西胆振消防組合や洞爺湖のホームページにも掲載していますのでご覧ください。

消防水利周辺に駐車 をしていませんか？

皆さんは『消火栓』や『防火水槽』をご存知ですか？これらの消防水利は住宅火災などの際、消防活動に必要な水を消防隊に供給する大切な施設です。

消防水利は、いつ・どこで火災が発生しても直ちに対応できるように、消防署で定期的に除雪や点検を行っています。『消火栓』や『消防水利』付近へ駐車している車両が、火災時の消防活動に障害になるケースも発生しています。

雪により道幅が狭くなるこの季節、一刻を争う消防活動に皆さんのご理解とご協力をお願いします。

また、消防水利付近にお住まいの方々には、大変お忙しい中、消防水利除雪へのご協力を頂き誠に有難うございます。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

統一標語

消したはず

決めつけないで

もう一度

fire

平成23年1月(12月31日現在)

- 火災件数 4件
- 救急件数 487件